

**乾燥弱毒生おたふくかぜワクチンの  
副反応疑い報告状況について**

**○乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン**

商 品 名 : ①おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」  
 ②乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」  
 製造販売業者 : ①第一三共株式会社（旧 北里第一三共ワクチン株式会社）  
 ②武田薬品工業株式会社  
 販売開始 : ①昭和57年5月  
 ②昭和58年1月  
 効 能 ・ 効 果 : おたふくかぜの予防

**副反応疑い報告数  
(令和5年4月1日から令和5年6月30日報告分まで：報告日での集計)**

令和5年4月1日から令和5年6月30日までの医療機関への納入数量を接種可能のべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したものは以下のとおり。  
 ※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

（単位：例）

	接種可能のべ人数 (回数)	製造販売業者からの報告	医療機関からの報告	
		報告数 ( ) : 接種日が左記期間内の症例	報告数 ( ) : 接種日が左記期間内の症例	
		報告頻度	報告頻度	うち重篤
令和5年4月1日 ～令和5年6月30日	433, 860	1 (0) 0.0002% 0.0000%	10 (5) 0.0023% 0.0012%	9 (4) 0.0021% 0.0009%
(参考) 平成25年4月1日～ 令和5年6月30日	13, 656, 686	220 0.0016%	346 0.0025%	249 0.0018%

※1人あたり0.5mL接種されたと仮定した。

**令和5年4月1日から令和5年6月30日報告分の重篤例の転帰**

（単位：例）

	製造販売業者からの報告						医療機関からの報告					
	回復/ 軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	回復/ 軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計
<b>重篤例数</b>	0	0	0	0	1	1	8	0	0	0	1	9

（注意点）

※ 副反応疑い報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではありません。

※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

※ 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

※ 製造販売業者からの報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチンの副反応疑い報告状況

平成25年4月1日から令和5年6月30日までの報告数及び症状種類別報告件数は以下のとおり。医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	平成25年4月～令和5年3月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	令和5年4月～令和5年6月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数
報告数	240	219	459	9	1	10
症状別総件数	348	314	662	12	3	15
症状名の種類	症状の種類別件数					
<b>胃腸障害</b>						
悪心		1	1			
下腹部痛		1	1			
急性腸炎		3	3			
血便排泄	1		1			
口腔内出血	1		1			
口唇紅斑		1	1			
耳下腺腫大	1	2	3			
上部消化管出血		1	1			
舌血腫	1		1			
唾液腺痛		1	1			
嘔吐		2	2			
<b>一般・全身障害および投与部位の状態</b>						
異常感	1		1			
死亡		1	1			
疾患再発					1	1
状態悪化	1	1	2			
注射部位紅斑	1		1			
発熱	17	12	29			
歩行障害	2	3	5			
歩行不能		1	1			
末梢性浮腫		1	1			
薬効欠如	2		2			
<b>感染症および寄生虫症</b>						
ウイルス感染	1		1			
ウイルス性髄膜炎	8	6	14			
ウイルス性髄膜脳炎	3	2	5			
ウイルス性脳炎	1		1			
エンテロウイルス感染	1		1			
ムンプス	1	3	4			
ムンプス性髄膜炎	9	13	22			
ムンプス性精巣炎		1	1			
ムンプス難聴		1	1			
ムンプス脳炎	2		2			
レンサ球菌性咽頭炎				1		1
ワクチン接種後の麻疹	1		1			
胃腸炎	1		1			
骨髄炎		1	1			
耳下腺炎	1	6	7			
腎盂腎炎		1	1			
水痘	1	1	2			
髄膜炎	6	19	25			
精巣炎		4	4			
精巣上体炎		1	1			
帯状疱疹		1	1			
中耳炎	1		1	1		1
突発性発疹	2		2			
脳炎	13	16	29			
膿尿		1	1			
敗血症		1	1			
肺炎	3	1	4			
肺炎球菌性菌血症	1		1			
肺炎球菌性髄膜炎		2	2			
腹膜炎					1	1
蜂巣炎	1	1	2			
麻疹	1		1			
無菌性髄膜炎	101	109	210	4		4
<b>肝胆道系障害</b>						
肝障害	1		1			
<b>眼障害</b>						
眼痛	1		1			
結膜充血		1	1			
視神経障害	1		1			
<b>筋骨格系および結合組織障害</b>						
下顎腫痛	1		1			
筋膜炎	1		1			
筋力低下	1		1			
線維筋痛		1	1			
<b>血液およびリンパ系障害</b>						
リンパ節炎	1		1			
リンパ節腫	1	1	2			
血小板減少症	1		1			
血小板減少性紫斑病	7	1	8			
再生不良性貧血	1		1			
自己免疫性溶血性貧血	1		1			
播種性血管内凝固	1		1			
免疫性血小板減少症	16	3	19	1		1
<b>血管障害</b>						
出血	1		1			
出血性ショック		1	1			
川崎病	4	3	7			
<b>呼吸器、胸郭および縦隔障害</b>						
咽頭紅斑		1	1			
咳嗽		3	3			
呼吸窮迫	1		1			
上気道の炎症	1		1			
息詰まり		1	1			
低酸素症	1		1			
肺水腫	1		1			

鼻出血	1		1		
鼻漏		1	1		
頻呼吸	1		1		
喘息	1		1		
耳および迷路障害					
一過性難聴	1		1		
感音性難聴	2	1	3		
耳介腫脹	1		1		
片耳難聴		2	2		
傷害、中毒および処置合併症					
挫傷		1	1		
転倒		1	1		
心臓障害					
心筋症	1		1		
心停止	1		1		
心肺停止	1		1		
頻脈		1	1		
不整脈	1		1		
神経系障害					
ギラン・バレー症候群	1	1	2		
ジスキネジア	2		2		
てんかん重積状態	3		3		
意識レベルの低下	1		1		
意識消失	3	1	4		
意識変容状態	3	2	5		
間代性痙攣	3		3		
眼振	1		1		
顔面麻痺				1	1
起立不耐性		1	1		
急性散在性脳脊髄炎	5	3	8	1	1
傾眠	1		1		
自己免疫性脳炎	2	2	4		
自己免疫性脳症	1		1		
失語症		1	1		
小脳性運動失調	2	1	3		
全身性强直性間代性発作	1	2	3		
低酸素性虚血性脳症	1		1		
点頭てんかん		2	2		
頭痛	1	4	5		
熱性痙攣	11	9	20	2	2
脳症	13	9	22		
脳浮腫	1		1		
浮動性めまい	1		1		
痙攣発作	12	12	24		
腎および尿路障害					
ネフローゼ症候群	1		1	1	1
急性腎障害	1		1		
排尿異常	1		1		
排尿困難	1		1		
生殖系および乳房障害					
精巣痛		1	1		
精神障害					
気分変化	1		1		
失見当識		1	1		
代謝および栄養障害					
1型糖尿病		1	1		
栄養補給障害	1		1		
過小食	1		1		
高カリウム血症	1		1		
食欲減退	1		1		
代謝性アシドーシス	1		1		
脱水	1		1		
中枢性塩類喪失症候群	1		1		
低ナトリウム血症	2		2		
糖尿病		1	1		
内分泌障害					
抗利尿ホルモン不適合分泌		2	2		
皮膚および皮下組織障害					
丘疹	1		1		
紅斑	2		2		
水疱性皮膚炎	1		1		
多形紅斑	1	3	4		
発疹	4	2	6		
斑状丘疹状皮疹		1	1		
麻疹様発疹	1		1		
蕁麻疹	1		1		
免疫系障害					
アナフィラキシーショック	3	1	4		
アナフィラキシー反応	5	4	9		
過敏症	1		1	1	1
臨床検査					
ヘモグロビン減少		1	1		
血小板数減少		1	1		
心電図QT延長	1		1		
体温上昇	1		1		
白血球数増加	1		1		

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 重篤症例一覧  
 (令和5年4月1日から令和5年6月30日までの報告分)

製造販売業者からの報告

No	年齢 (発生時)	性別	接種日	ワクチン名 (ロット番号)	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発 生までの日数	企業重篤度	転帰日	転帰内容
1	6歳	男	不明	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	なし		なし	ネフローゼ症候群、腹膜炎、疾患再発	不明	不明	重篤	不明	不明

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 重篤症例一覧  
 (令和5年4月1日から令和5年6月30日までの報告分)

医療機関からの報告

No	年齢 (接種時)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
1	1歳	男	2022年8月30日	おたふくかぜ	ZVA044A	第一三共	あり	テトラビック(阪大微研、4K41C) 水痘(阪大微研、VZ327)	なし	顔面麻痺	2022年9月20日	21	関連あり	重い	2023年5月29日	回復
2	6歳	男	2023年2月28日	MR	MR354	阪大微研	あり	おたふくかぜ(武田薬品工業、G940)	なし	急性散在性脳脊髄炎	2023年3月12日	12	関連あり	重い	不明	軽快
3	1歳	女	2023年3月14日	おたふくかぜ	ZVA056A	第一三共	あり	MR(武田薬品工業、Y299) 水痘(阪大微研、VZ339)	なし	無菌性髄膜炎、中耳炎 ※髄液ムンプスLAMPは陰性	2023年4月3日	20	評価不能	重い	2023年4月26日	回復
4	6歳	男	2023年3月31日	おたふくかぜ	G940	武田薬品工業	なし		なし	無菌性髄膜炎 ※髄液PCR検査の結果、ワクチン株(鳥居株)に由来している可能性が示唆された	2023年4月18日	18	関連あり	重い	2023年5月1日	回復
5	1歳	男	2023年4月5日	おたふくかぜ	ZVA055A	第一三共	あり	MR(阪大微研、MR355) 水痘(阪大微研、VZ338)	なし	無菌性髄膜炎 ※ウイルス同定検査: RT-PCR Q-probe 法にて実施。ムンプスワクチン株と判定。	2023年4月29日	24	関連あり	重い	2022年5月22日	回復
6	1歳	男	2023年4月26日	MR	ZWA020A	第一三共	あり	おたふくかぜ(第一三共、ZVA057A) 水痘(阪大微研、VZ341)	なし	免疫性血小板減少症	2023年5月13日	17	記載なし	重い	2023年5月	回復
7	6歳	男	2023年5月26日	MR	Y303	武田薬品工業	あり	おたふくかぜ(武田薬品工業、G944)	熱性痙攣、痙攣発作、部分発作、発熱	レンサ球菌性咽頭炎、熱性痙攣	2023年6月2日	7	評価不能	重い	不明	不明
8	5歳	女	2023年6月9日	MR	MR356	阪大微研	あり	おたふくかぜ(第一三共、ZVA058A)	食物アレルギー、乳アレルギー	過敏症	2023年6月9日	0	関連あり	重い	2023年6月10日	回復
9	1歳	男	2022年3月23日 2022年4月20日 2022年5月18日 2023年3月14日	おたふくかぜ	ZVA055A	第一三共	あり	アクトヒブ(サノフィ、V1A99) プレベナー13(ファイザー、EX3018、EX3018、EX3018、EX2608) MR(阪大微研、MR354) 水痘(阪大微研、VZ338)	なし	無菌性髄膜炎、熱性痙攣	2023年4月3日	20	評価不能	重い	2023年4月10日	回復

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 非重篤症例一覧  
 (令和5年4月1日から令和5年6月30日までの報告分)

医療機関からの報告

No	年齢 (接種時)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
1	1歳	男	2023年4月4日	MR	MR355	阪大微研	あり	水痘(阪大微研、VZ340) おたふくかぜ(第一三共、ZVA055A)	3/9 Hib 肺炎球菌の追加	アナフィラキシー、じんま疹	2023年4月4日	0	関連あり	重くない	2023年4月5日	軽快

## 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン接種後のGBS/ADEMの可能性のある症例まとめ

令和5年4月1日～令和5年6月30日入手分まで

### 【選択基準】

○GBS、ADEMの症状名で報告された症例

報告元	症例数	専門家の評価によりGBS/ADEMとして否定できないとされた症例	
		GBS	ADEM
医療機関	1	0	0
製造販売業者	0	0	0

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン接種後のアナフィラキシー<sup>※</sup>が疑われる症例まとめ(重篤症例)

※【選択基準】

症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

報告期間	報告数 <sup>※※</sup>	専門家の評価によりアナフィラキシーのプライトン分類評価が3以上とされた症例	推定接種人数
平成25年4月～平成25年6月	0	0	23万人
平成25年7月～平成25年12月	2	0	45万人
平成26年1月～平成26年7月	0	0	70万人
平成26年8月～平成26年10月	0	0	21万人
平成26年11月～平成27年6月	2	0	69万人
平成27年7月～平成27年12月	0	0	57万人
平成28年1月～平成28年4月	0	0	47万人
平成28年5月～平成28年8月	0	0	46万人
平成28年9月～平成28年11月	0	0	26万人
平成28年12月～平成29年4月	1	0	57万人
平成29年5月～平成29年8月	0	0	45万人
平成29年9月～平成29年12月	0	0	39万人
平成30年1月～平成30年4月	0	0	46万人
平成30年5月～平成30年8月	0	0	49万人
平成30年9月～平成30年12月	0	0	39万人
平成31年1月～平成31年4月	0	0	62万人
令和元年5月～令和元年8月	0	0	50万人
令和元年9月～令和元年12月	0	0	50万人
令和2年1月～令和2年4月	0	0	49万人
令和2年5月～令和2年9月	1	1	82万人
令和2年10月～令和2年12月	0	0	36万人
令和3年1月～令和3年3月	3	1	31万人
令和3年4月～令和3年6月	4	2	43万人
令和3年7月～令和3年9月	1	1	19万人
令和3年10月～令和3年12月	1	1	61万人
令和4年1月～令和4年3月	0	0	23万人
令和4年4月～令和4年6月	0	0	34万人
令和4年7月～令和4年9月	2	0	36万人
令和4年10月～令和4年12月	2	0	36万人
令和5年1月～令和5年3月	0	0	32万人
令和5年4月～令和5年6月	0	0	43万人

※※(注意点)

・ 報告日での集計のため、報告数には対応する報告期間より以前に接種又は発生した症例も含まれる。

・ 同一の症例が複数の製造販売業者や医療機関から重複して報告されている可能性がある。報告内容から重複であることが確認できれば重複を排除して集計しているが、重複か否か判断できない場合はそのまま計上している。